

## 地域と共にある学校づくりを目指して

皆様こんにちは。きらきらと緑輝く山々を見渡せる、この尾田蒔小学校へ赴任し、3年目を迎えました校長の島寄紀江でございます。



校長 島寄紀江

この2年間、子供たちの素直で明るい姿や、地域の皆様の温かさにふれるたびに、「この学校に来てよかった」と感じる日々を過ごしてまいりました。朝、元気に挨拶

をしてくれる子供たちの声や、何気ない会話の中にある優しさに、私自身もたくさん力をもらっています。

本校は今年度、創立141年目を迎える伝統ある学校です。尾田蒔地区の豊かな歴史と文化、そして人と人とのつながりの中で、子供たちは大切に育まれてきました。その一員として関われることに、あらためて大きな喜びと責任を感じております。

保護者・地域の皆様には、日頃より学校教育への温かいご支援や登下校の見守りなど、子供たちを支えていただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

令和8年度の尾田蒔小学校は、児童数135名、教職員25名でスタートいたしました。本校の校歌に「孝子のほまれ」と歌われているように、「心豊かでたくましい子」の育成を目指し、子供たち一人一人の思いやよさを大切にしながら、教職員一同取り組んでまいります。

今年度の学校経営のテーマは、「笑顔・挨拶・歌声・学び合い」です。私は、子供たちの笑顔や元気な挨拶、心を一つにした歌声には、人と人をつなぐ大きな力があると感じています。そうした日々の積み重ねの中で、子供たちが互いに認め合い、支え合いながら学んでいける学校を目指してまいります。

コミュニティ・スクールとしての取組は10年目となりました。昭和50年から続く地域の皆様との「菊づくり」では、子供たちが心を込めて育てた花を通して、命の大切さや人とのつながりを学んでいます。こうした温かな取組を、これからも大切にしていきたいと思います。

また、ふるさと尾田蒔・秩父を大切に育てる心を育むための環境学習や体験活動の充実を図り、子供たちが自分の育った地域に誇りを持てるよう努めてまいります。

子供たちは、地域の中で育ち、地域とともに成長していきます。私自身もこの地域の一員として、皆様とともに子供たちの成長を見守り、支えていきたいと考えております。

今後とも、温かいご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。